

微弱・特定小電力用 バイポーラ高周波アンプ NJM2275のサンプル出荷開始

電源回路付きトランジスタの感覚で、VHF～UHF(Low)狭帯域アンプ

数10MHzから数100MHz帯を利用した微弱／特定小電力のデータ無線通信機器は、安価で信頼性の高い低速・中速ワイヤレスデータ通信の手段として、業務用機器から民生機器へと、また簡易データ伝送分野から家電・車載・住設分野へと、その応用分野の急激な広がりを見せています。

データ無線通信用ICも分野に特化した新製品を市場に出ていますが、応用分野の拡大に伴い、用途に合わせた専用ICの製品化にも限度があり、ゲインやアイソレーション不足を外部回路で補っています。新日本無線では、オーディオ、ビデオ用アンプやGaAsアンプを製品化していますが、数10MHz～数100MHz帯の専用アンプがありませんでした。

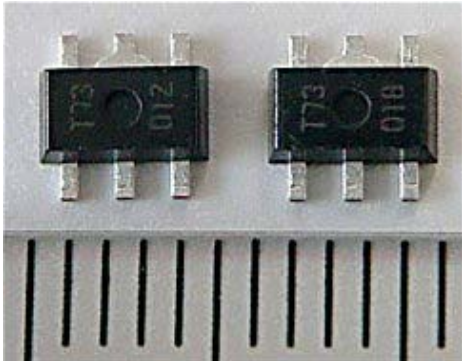
NJM2275の主な特長として：

外部L/C回路で対象周波数を可変、『電源回路内蔵トランジスタアンプ』の感覚で簡単に使用出来ます。0.8mA(1.9V時)の低消費電流でながら、15dBの高電力利得、-26dB(400MHz時)のアイソレーションとNF2.2dBを実現しました。

(2004年 9月 3日)

<開発製品一覧>

製品名	機能	応用	外形
NJM2275	微弱・特定小電力用高周波アンプ	各種微弱特小機器	SOT-23-6 (MTP6)



<製品の機能および特徴の概要>

- ・低電圧で広範囲の電源電圧 1.8～6V
- ・低消費電流 0.8mA (V+=1.9V時)
- ・高利得電圧 電圧：30dB (400MHz, 1.9V, 1kΩ)
電力：15dB (400MHz, 1.9V)
- ・対応周波数 VHF～UHF(Low)
- ・高アイソレーション -26dB (OUT→IN)
- ・主電源立ち上がり時に特殊シーケンスを採用
- ・バイポーラ構造
- ・外形 [SOT-23-6\(MTP6\)](#)(2.9×2.8×1.1mm)

<生産予定/サンプル価格>

NJM2275のサンプル出荷を9月から開始し、生産を2004年12月、月産1,000K個より立ち上げ予定です。サンプル価格は60円です。